

※今月のみ受注の書目です。

中東史

近代オスマン帝国における国家医療の誕生 湾岸都市イズミルの衛生と感染症

(2024 年 12 月中旬刊行予定)

鈴木真吾 (日本学術振興会特別研究員 PD (東京大学)) [著]

A5 上製 / 320 頁 税込予価 7,700 円 ISBN978-4-7664-3001-1 C3022

👉 ココに注目!

- ・ 近代オスマン帝国の医療・衛生問題を本格的に取り上げた学術書。
- ・ 国家の医療政策を地方都市の現場で具現化する様を描き出す。

20 世紀転換期オスマン帝国 (現トルコ共和国) の国際商業都市であったイズミルとその周辺地域を事例に、現地調査で独自に収集した新史料を繙き、医療・衛生制度の普及過程を明らかにする。近代オスマン帝国の医療・衛生問題を初めて本格的に取り上げた学術書。

対象 (トルコ地域研究を専門とする) 研究者

類書 飯島渉『ペストと近代中国—衛生の「制度化」と社会変容』(研文出版)

【営業部からのおすすめポイント】

2020 年のコロナ禍以降、公衆衛生の問題は国家の権力性と密接に関わっていることを目の当たりにしてきました。近年においても、その関係性は近代国家にみられる特徴の一つであり、医療・衛生行政の発展が帝国主義権力を支えた事実を明らかにする比較研究が進められています。本書では物流の盛んだった 20 世紀転換期オスマン帝国のイズミル (現トルコ共和国) の事例を基に、医療衛生政策の地方への普及過程を描き出します。

(吉川)

👉 目次、注文書、関連既刊を裏面に掲載! ぜひご確認ください!

【目次】

- 序 章 近代オスマン帝国と医療・衛生・地方社会
- 第1章 19世紀後半における地方医療・衛生行政の改革
- 第2章 清潔で近代的な都市へ
——近代イズミルにおける都市行政と公衆衛生
- 第3章 新たな医学知と衛生対策の変容
——20世紀転換期イズミルにおけるコレラ流行
- 第4章 地方における国家医療の代理人
——市行政医の職務
- 第5章 行政医の苦難と抵抗
——近代オスマン帝国における医療の専門職化

結論

参考文献

注



ご注文は FAX で！ 03－3451－3124



新刊委託	番線	ご注文部数	発行所：慶應義塾大学出版会	税込予価	部数
			鈴木真吾 著 近代オスマン帝国における国家医療の誕生 —湾岸都市イズミルの衛生と感染症 ISBN978-4-7664-3001-1 C3022	7,700 円	★★

★1つで「500部」を表します

関連既刊（ぜひ併せてご注文ください!）

返品条件付注文品	番線	ご注文部数	発行所：慶應義塾大学出版会	定価(税込)
			坂本勉 著 新版 トルコ民族の世界史 ISBN978-4-7664-2809-4 C0022	2,640 円